

熊本市アライグマ生息状況調査
業務委託

報告書

令和3年2月

株式会社 地域環境計画 九州支社

目 次

1. 業務概要.....	1
1-1 業務名.....	1
1-2 業務目的.....	1
1-3 実施履行期間.....	1
1-4 業務履行場所.....	1
1-5 業務項目.....	1
2. 業務内容.....	2
2-1 生息状況調査.....	2
(1) 熊本県内におけるアライグマ確認状況の整理.....	2
(2) 調査箇所を選定.....	5
(3) フィールドサイン調査の実施及び自動撮影カメラの設置.....	8
(4) 生息確認時の対応.....	24
(5) 調査結果.....	24
(6) 熊本県内におけるアライグマ確認状況の再整理.....	38
(7) 熊本市におけるアライグマ確認の経年推移.....	41
(8) 今後のアライグマ対策の提案.....	44
2-2 打ち合わせ及び報告.....	46

1. 業務概要

1-1 業務名

熊本市アライグマ生息状況調査業務委託

1-2 業務目的

本市においてアライグマは平成 22 年に南区で 1 頭が確認されて以降、自動撮影カメラによる個体の撮影や足跡の発見、へい死体及び生存個体の捕獲等の生息確認情報が相次いでいる。平成 29 年度の生息確認情報は 3 件であったが、平成 30 年度には 9 件、令和元年度には 19 件あり、増加傾向にある。隣接する周辺地域での確認情報も増加しており、生息数の増加や生息域の拡大が示唆される。今後は甚大な被害（農業被害・生活被害・生態系被害）が発生するおそれがあることから、生息状況を的確に把握し、対策に講じることが重要である。

本業務は、平成 28 年 3 月に策定した「熊本市生物多様性戦略～いきもん つながる くまもと C プラン～」を踏まえ、熊本市において特に対策が必要な侵略的外来種として想定されるアライグマについて、フィールドサイン調査及び自動撮影カメラ設置により生息状況及び被害状況を把握し、侵入監視を行うことにより、アライグマの防除対策に資することを目的とした。

1-3 実施履行期間

令和 2 年 6 月 19 日より令和 3 年 2 月 28 日まで

1-4 業務履行場所

熊本市

1-5 業務項目

本業務の業務数量は以下に示すとおりである。

表 1-1 業務項目

項目	数量	単位
(1) フィールドサイン調査の実施及び自動撮影カメラの設置	1	式
(2) 生息確認時の対応	1	式
(3) 調査結果のとりまとめ	1	式
(4) 打合せ及び報告	1	式

2. 業務内容

2-1 生息状況調査

(1) 熊本県内におけるアライグマ確認状況の整理

調査箇所を選定にあたり、熊本県内におけるこれまでのアライグマ確認状況の整理を行った。

熊本県内においては、本業務開始時である令和2年6月時点で125例のアライグマ生息情報が確認されていた。生息確認状況一覧を表2-1に示す。

熊本市内においては、平成22年に県下初となる南区域南町での確認以降、確かな情報はなかったが、平成29年度に3件（南区、北区、西区）、平成30年度に9件（南区、北区、西区）、令和元年度に19件（南区、北区）と増加傾向にある中、令和2年度に入り、すでに8件（北区、中央区、西区、東区）が確認され、中央区や東区といった新たな地域での確認も相次いでいる状況にあった。

また、隣接する市町においても、これまで確認されていた山鹿市、玉名市、玉東町に続き、菊陽町での新たな確認もあり、周辺においても分布拡大が進行している状況であった。

表 2-1 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧(1)

(令和2年6月1日時点)

No.	場 所	確認方法	頭数	性別	捕獲等年月日	周辺環境等
1	熊本市南区城南町鰐瀬	写真	1	-	H22.9.19	
2	上益城郡御船町	写真	1	-	H24.3.3	
3	上益城郡御船町	写真	1	-	H24.4.28	耕作地脇の沢
4	荒尾市平山小山	捕獲	1	メス	H26.2.3	里山
5	菊池市重味	写真	1	-	H26.7.25	ブドウ園
6	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	-	H26.9.30	山林
7	阿蘇郡小国町大字黒淵	写真	1	-	H26.10.1	山林
8	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	-	H26.10.3	山林
9	阿蘇郡小国町大字黒淵	捕獲	1	不明	H26.10.23	山林
10	玉名市下	死亡個体	1	オス	H26.12.4	道路上事故死
11	山鹿市鹿北町大字多久	捕獲	1	不明	H27.12.4	里山
12	宇城市松橋町竹崎	写真	2	-	H28.2.22	道路沿い
13	阿蘇郡高森町大字上色見字大村	捕獲	1	不明	H28.3.20	里山
14	山鹿市小坂	死亡個体	1	不明	H28.9.24	道路上事故死
15	玉名市安楽寺染山地内	捕獲	2	オス	H28.11.6	里山
16	山鹿市(詳細位置不明)	捕獲	1	不明	H28.11.22	鳥獣捕獲報告より
17	山鹿市(詳細位置不明)	捕獲	1	不明	H28.11.15~ H29.2.15	鳥獣捕獲報告より
18	上益城郡益城町	写真(足跡)	1	-	H29.3	安田先生より情報提供
19	宇城市松橋町曲野	捕獲(幼獣)	1	メス	H29.6.9	メロンハウス
20	熊本市南区野田	写真(足跡)	1	-	H29.6.21	河川沿い
21	熊本市北区植木町豊岡	写真	1	-	H29.9.23	水路沿い
22	上益城郡山都町金内	死亡個体	1	オス	H29.10.16	道路上事故死
23	宇城市三角町大田尾	死亡個体	1	不明	H29.11.13	道路上事故死

表 2-1 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧(2)

No.	場 所	確認方法	頭数	性別	捕獲等年月日	周辺環境等
24	熊本市西区西松尾町	死亡個体	1	オス	H30.1.16	道路上事故死
25	山鹿市菊鹿町上内田	捕獲	1	オス	H30.2.21	林道沿い
26	玉名市安楽寺	捕獲	1	オス	H30.3.1	畑
27	玉名郡南関町関東	写真	1	-	H30.2.26	ため池
28	玉名郡南関町関東	写真	1	-	H30.3.23	ため池
29	玉名郡和水町日平	捕獲	1	オス	H30.4.24	林道沿い
30	玉名郡和水町日平	捕獲	1	メス	H30.4.26	林道沿い
31	宇土市岩古曾町	写真	1	-	H30.4.25	民家付近通路
32	玉名郡南関町関町	捕獲	1	オス	H30.5.5	溜池脇
33	玉名郡南関町関町	死亡個体(幼獣)	1	オス	H30.5.22	道路沿い
34	玉名郡玉東町上木葉	写真	1	-	H30.7.29	川沿い
35	熊本市南区城南町阿高	捕獲	1	オス	H30.8.15	川沿い
36	玉名郡玉東町上木葉	捕獲	1	オス	H30.8.17	山林
37	熊本市南区富合町平原	写真	1	-	H30.8.25	山林の沢沿い
38	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	H30.9.23	山林の沢沿い
39	玉名市安楽寺	写真	1	-	H30.10.6	山林の沢沿い
40	玉名市安楽寺	写真	1	-	H30.10.7	山林の沢沿い
41	玉名市安楽寺	写真	1	-	H30.10.10	山林の沢沿い
42	山鹿市石	死亡個体	1	不明	H30.10.10	道路上事故死
43	和水町日平	写真	1	-	H30.10.11	山林の沢沿い
44	菊池市重味	写真	1	-	H30.10.13	ブドウ園
45	玉名市安楽寺	写真	1	-	H30.10.20	山林の沢沿い
46	玉東町浦田	写真	1	-	H30.10.22	山林の沢沿い
47	玉名市安楽寺	写真	1	-	H30.10.24	山林の沢沿い
48	玉東町浦田	写真	1	-	H30.10.30	山林の沢沿い
49	玉東町浦田	捕獲	1	メス	H30.10.31	山林の沢沿い
50	玉東町浦田	写真	2	-	H30.11.4	山林の沢沿い
51	玉名市安楽寺	写真	1	-	H30.11.4	山林の沢沿い
52	玉東町上白木	捕獲	1	オス	H30.11.5	山林
53	玉名市安楽寺	捕獲	1	オス	H30.11.5	山林の沢沿い
54	玉名市安楽寺	写真	1	-	H30.11.5	山林の沢沿い
55	玉名市安楽寺	写真	1	-	H30.11.6	山林の沢沿い
56	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	H30.11.7	山林の沢沿い
57	玉東町浦田	写真	1	-	H30.11.14	山林の沢沿い
58	玉東町浦田	写真	1	-	H30.11.15	山林の沢沿い
59	山鹿市小坂	写真	1	-	H30.11.24	山林の沢沿い
60	玉名市安楽寺	捕獲	1	オス	H30.11.24	山林の沢沿い
61	山鹿市菊鹿町上内田	捕獲	1	メス	H30.12.5	山林
62	熊本市南区富合町平原	写真	1	-	H30.12.6	山林の沢沿い
63	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	H30.12.23	山林の沢沿い
64	玉東町浦田	写真	1	-	H31.1.8	山林の沢沿い
65	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	H31.1.9	山林の沢沿い
66	山鹿市鹿北町椎持	捕獲	1	オス	H31.1.15	宅地
67	玉名市石貫	捕獲	1	オス	H31.1.23	山林

表 2-1 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧(3)

No.	場 所	確認方法	頭数	性別	捕獲等年月日	周辺環境等
68	菊池市雪野	捕獲	1	オス	H31.2.1	山林の沢沿い
69	熊本市西区西松尾町	写真	1	-	H31.2.9	山林
70	山鹿市鹿北町多久	捕獲	1	メス	H31.2.13	山林
71	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	H31.3.2	山林の沢沿い
72	天草市本渡町広瀬	捕獲	1	オス	H31.3.19	イチゴハウス脇
73	菊池郡大津町平川	写真	1	-	H31.3.12	民家屋根裏
74	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	R 元.5.5	山林の沢沿い
75	玉名郡玉東町浦田	捕獲	1	メス	R 元.7.18	山林
76	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R 元.7.25	山林の沢沿い
77	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R 元.7.25	山林の沢沿い
78	玉名郡玉東町上木葉	捕獲	1	オス	R 元.7.29	山林
79	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	R 元.8.4	山林の沢沿い
80	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R 元.8.12	山林の沢
81	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	R 元.8.13	山林の沢沿い
82	熊本市北区植木町鈴麦	写真	3	-	R 元.9.9	山林の沢沿い
83	熊本市北区植木町鈴麦	写真	2	-	R 元.9.9	山林の沢沿い
84	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R 元.10.12	山林の沢沿い
85	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R 元.10.16	山林の沢沿い
86	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R 元.10.16	山林の沢沿い
87	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	R 元.10.16	山林の沢沿い
88	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R 元.10.17	山林の沢沿い
89	玉名市安楽寺	写真	1	-	R 元.10.25	山林の沢沿い
90	玉名市安楽寺	写真	1	-	R 元.10.26	山林の沢沿い
91	玉名市安楽寺	写真	1	-	R 元.11.1	山林の沢沿い
92	玉名市安楽寺	写真	1	-	R 元.11.3	山林の沢沿い
93	玉名市安楽寺	写真	1	-	R 元.11.4	山林の沢沿い
94	熊本市北区植木町鈴麦	捕獲	1	オス	R 元.11.8	山林の沢沿い
95	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R 元.11.8	山林の沢沿い
96	玉名市安楽寺	写真	1	-	R 元.11.10	山林の沢沿い
97	玉名市安楽寺	写真	1	-	R 元.11.15	山林の沢沿い
98	熊本市南区日吉	写真	1	-	R 元.11.13	民家屋根裏
99	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R 元.11.16	山林の沢沿い
100	玉名市安楽寺	写真	1	-	R 元.11.23	山林の沢沿い
101	阿蘇郡高森町津留	捕獲	1	オス	R 元.11.28	山林
102	玉名市安楽寺	捕獲	1	オス	R 元.12.3	山林の沢沿い
103	山鹿市小坂	捕獲	2	オス	R 元.12.9	山林
104	玉名市安楽寺	捕獲	1	オス	R 元.12.9	山林の沢沿い
105	玉名市安楽寺	写真	1	-	R2.1.20	山林の沢沿い
106	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.1.21	山林の沢沿い
107	玉名市安楽寺	写真	1	-	R2.1.26	山林の沢沿い
108	玉名市安楽寺	写真	1	-	R2.2.15	山林の沢沿い
109	熊本市北区植木町鈴麦	写真(足跡)	1	-	R2.2.17	山林の沢沿い
110	山鹿市鹿北町多久	捕獲	1	オス	R2.3.2	民家付近
111	山鹿市小坂	捕獲	1	オス	R2.3.9	山林

表 2-1 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧(4)

No.	場 所	確認方法	頭数	性別	捕獲等年月日	周辺環境等
112	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.4.10	山林の沢沿い
113	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.4.10	山林の沢沿い
114	葦北郡芦北町大字横居木	捕獲(幼獣)	1	メス	R2.4.12	イチゴハウス周辺
115	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.4.30	山林の沢沿い
116	熊本市北区植木町鈴麦	捕獲	1	メス	R2.4.30	沢沿いの竹林内
117	熊本市中央区島崎一丁目	捕獲	1	オス	R2.4.30	民家の屋根裏
118	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	R2.5.5	沢沿い
119	熊本市西区河内町河内	捕獲	1	オス	R2.5.8	果樹園内作業道
120	熊本市東区下江津五丁目	捕獲	1	オス	R2.5.12	民家の屋根上
121	菊池郡菊陽町大字津久礼	捕獲(幼獣)	1	メス	R2.5.17	市街地公園
122	山鹿市鹿北町四丁	捕獲(幼獣)	1	メス	R2.5.20	民家裏の木
123	玉東町上木葉	捕獲	1	メス	R2.5.20	民家付近
124	山鹿市鹿北町四丁	捕獲(幼獣)	1	メス	R2.5.29	民家裏の木
125	玉東町上木葉	捕獲	1	メス	R2.6.1	民家付近
125	事例	個体確認	132	頭(うち捕獲及び死亡個体	53	頭)

※ : 熊本市内での確認

(2) 調査箇所の選定

今年度に入り確認された事例により、北区、西区、中央区、東区、南区の市内全ての区においてアライグマの生息が確認された。これまでの確認地点は以下のとおりである。

- ・北区 : 植木町鈴麦、同町平原、同町豊岡
- ・西区 : 西松尾町、河内町河内
- ・中央区 : 島崎
- ・東区 : 下江津
- ・南区 : 城南町鰐瀬、同町阿高、富合町平原、日吉、野田

上記地区に加え、周辺市町での確認情報を基に新たな侵入の可能性を検討し、調査地点を選定した。特に移動経路となることが想定される河川等の水域、餌場としての利用が想定される果樹園及び耕作地、ねぐら等の利用が想定される樹林地といった環境が複合的に存在する箇所に着目し、調査地点とした。

なお、有識者(森林総合研究所 九州支所 安田雅俊氏)にヒアリングを行った結果、特に「確認が相次いでいる北区木葉山周辺域」と「侵入・拡大が懸念される西区金峰山周辺域」を重点的に調査することが効果的との助言を受け、当該地区を重点地区として、優先的に自動撮影カメラを設置することとした。有識者ヒアリングの記録簿は資料編に示す。

調査箇所の選定結果を表 2-2 に、調査箇所位置を図 2-1 に示す。

表 2-2 調査箇所の選定結果

区	調査箇所と選定理由	カメラ設置台数
北区	<p>[調査重点地区] 国見山・木葉山周辺域 ・平成 29 年以降、確認が相次いでいる。 ・隣接する玉東町、玉名市等でも確認が多い。</p>	10 台程度
西区	<p>[調査重点地区] 金峰山周辺 ・平成 30 年以降、断続的に確認されている。 ※特に新たな侵入が懸念される北部域</p>	5 台程度
中央区	<p>井芹川、熊本城周辺（島崎） ・令和 2 年 4 月に確認されている。</p>	適宜
東区	<p>江津湖周辺（下江津） ・令和 2 年 5 月に確認されている。 熊本 IC 東側付近 ・令和 2 年 5 月に隣接する菊陽町で確認されている。</p>	適宜
南区	<p>雁回山周辺 ・平成 29 年、30 年に隣接する自治体を含め、複数地点で確認されている。 ※昨年の確認は無し 日吉、野田、城南町鰐瀬 ・これまでの確認地点（それぞれ確認は 1 例のみ）</p>	適宜

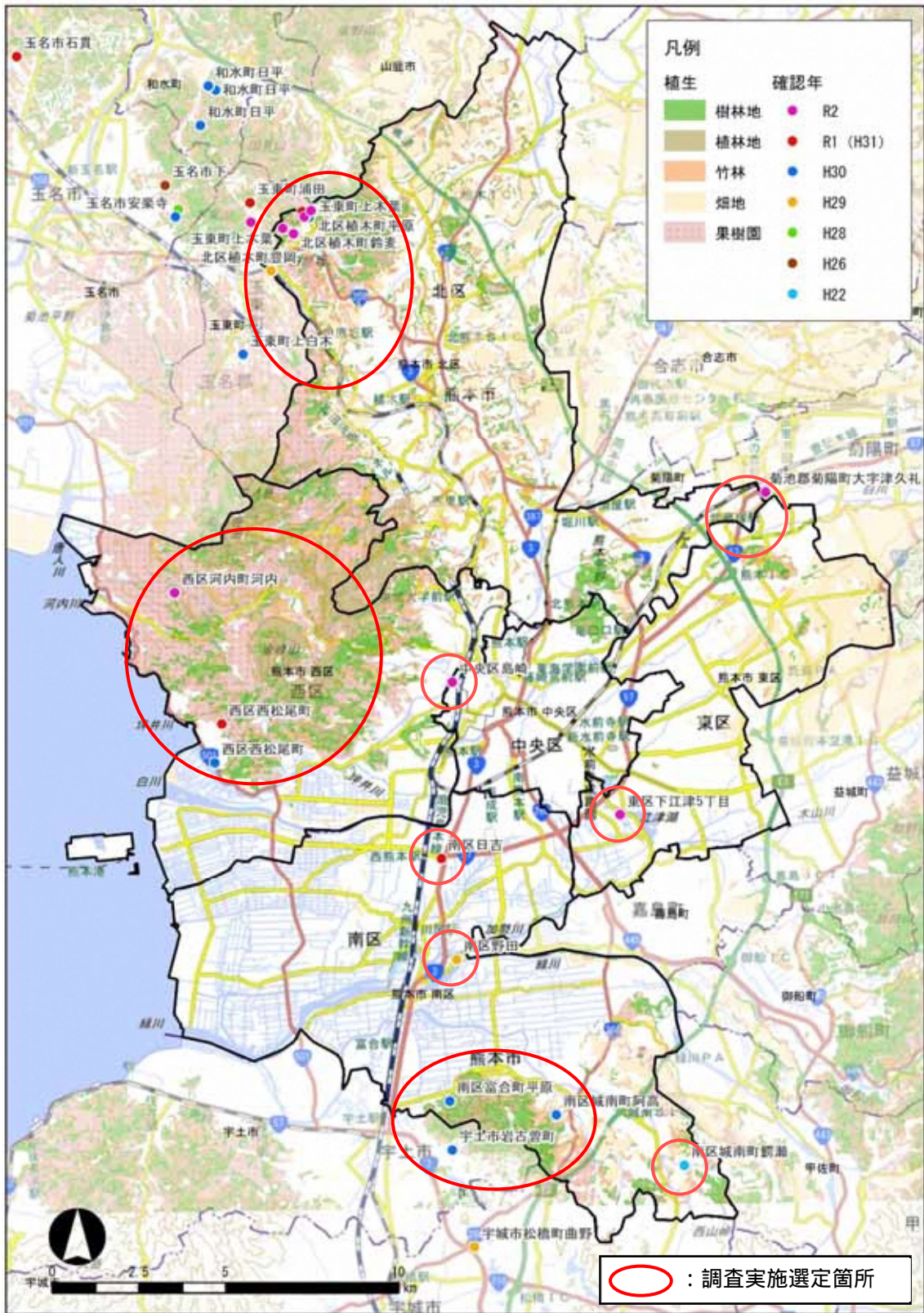


図 2-1 調査箇所位置図

(3) フィールドサイン調査の実施及び自動撮影カメラの設置

選定した調査箇所において、フィールドサイン（足跡、爪痕、糞、食痕等）調査及び自動撮影カメラの設置による生息状況調査を実施した。

フィールドサイン調査では痕跡の残りやすい水辺環境や耕作地、また社寺等の爪痕にも留意して調査を実施した。自動撮影カメラ調査ではフィールドサイン調査においてアライグマの可能性のある痕跡が確認された付近や、アライグマの出没が予想される場所に自動撮影カメラを設置した。フィールドサイン調査は12人日以上、自動撮影カメラ調査はカメラ15台を150日以上、追加5台を100日以上設置することとした。また、カメラの近くに誘引剤（落花生、ピーナツ、コーン菓子など）を設置し、撮影の確率を向上させるよう努めた。

フィールドサイン調査の実施日程を表2-3、自動撮影カメラ調査の実施日程を表2-4、自動撮影カメラの設置状況を表2-5～8に示し、フィールドサイン調査実施位置及び自動撮影カメラ設置位置を図2-2～9に示す。

表 2-3 フィールドサイン調査実施日程

項目	調査日
フィールドサイン調査	(北区) 令和2年7月31日、8月6日、9月10日、14日 11月6日、16日、12月14日、15日
	(西区) 令和2年7月13日、14日、15日、16日、30日 10月28日、11月6日、16日、12月15日
	(中央区) 令和2年7月14日
	(東区) 令和2年7月14日、10月27日、28日
	(南区) 令和2年7月13日、10月27日
	計 15 日

表 2-4 自動撮影カメラ調査実施日程

カメラ No.	地点	設置日	回収日	設置日数	合計日数
No. 1	北-1	R2. 6. 22	R2. 11. 6	137	238
	北-14	R2. 11. 6	R3. 2. 15	101	
No. 2	北-2	R2. 8. 6	R3. 2. 15	193	193
No. 3	北-3	R2. 6. 22	R2. 9. 14	84	238
	北-12	R2. 9. 14	R3. 2. 15	154	
No. 4	北-4	R2. 6. 22	R2. 12. 14	175	238
	北-4'	R2. 12. 14	R3. 2. 15	63	
No. 5	北-5	R2. 6. 22	R2. 9. 14	84	238
	北-13	R2. 9. 14	R2. 11. 6	53	
	北-15	R2. 11. 6	R3. 2. 15	101	
No. 6	北-6	R2. 8. 6	R3. 2. 15	193	193
No. 7	北-7	R2. 8. 6	R2. 11. 16	102	
	北-16	R2. 11. 16	R3. 2. 15	91	193
No. 8	北-8	R2. 8. 6	R3. 2. 15	193	193
No. 9	北-9	R2. 8. 6	R3. 2. 15	193	193
No. 10	北-10	R2. 8. 6	R3. 2. 15	193	193
No. 11	北-11	R2. 7. 30	R3. 2. 15	200	200
No. 12	西-1	R2. 7. 30	R3. 2. 15	200	200
No. 13	西-2	R2. 7. 30	R3. 2. 15	200	200
No. 14	西-3	R2. 7. 30	R3. 2. 15	200	200
No. 15	西-4	R2. 7. 30	R3. 2. 15	200	200
No. 16	西-5	R2. 10. 28	R3. 2. 15	110	110
No. 17	西-6	R2. 11. 6	R3. 2. 15	101	101
No. 18	西-7	R2. 11. 6	R3. 2. 15	101	101
No. 19	東-1	R2. 10. 28	R3. 2. 15	110	110
No. 20	南-1	R2. 10. 27	R3. 2. 15	111	111

※カメラ設置期間は、No. 1～15 が 150 日以上、追加設置分の No. 16～20 は 100 日以上。

表 2-5 自動撮影カメラ設置状況 [北区] (1)






カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
北-1 	地名：北区植木町平原 【設置場所】 緯度：32° 55′ 52.37″ 経度：130° 39′ 4.68″ 【設置環境】 沢沿い ●既往調査でのアライグマ確認地点 ●山鹿市、玉東町との境界部 ●移動経路となる沢沿い	R2. 6. 22～R2. 11. 6 (北-14 へ移動)
北-2 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 51.91″ 経度：130° 38′ 54.93″ 【設置環境】 沢沿い ●既往調査でのアライグマ確認地点 ●玉東町との境界部 ●果樹園に隣接する沢沿いに設置	R2. 8. 6～R3. 2. 15
北-3 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 46.9″ 経度：130° 38′ 57.26″ 【設置環境】 沢沿い ●既往調査でのアライグマ確認地点 ●玉東町との境界部 ●果樹園に近い沢沿いに設置	R2. 6. 22～R2. 9. 14 (北-12 へ移動)
北-4 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 36.1″ 経度：130° 38′ 32.94″ 【設置環境】 沢沿い ●既往調査でのアライグマ確認地点 ●玉東町との境界部 ●耕作地、果樹園に近い沢沿いに設置	R2. 6. 22～R2. 12. 14 (北-4' へ移動)
北-4' 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 35.31″ 経度：130° 38′ 32.51″ 【設置環境】 沢沿い ●北-4 の上流側 ●足跡確認地点 ●耕作地、果樹園に近い沢沿いに設置	R2. 12. 14～R3. 2. 15

表 2-5 自動撮影カメラ設置状況 [北区] (2)

カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
<p>北-5</p> 	<p>地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 31.04″ 経度：130° 38′ 44.99″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●既往調査でのアライグマ確認地点 ●北-4 下流側に位置する ●果樹園、耕作地が隣接する沢沿いに設置</p>	<p>R2. 6. 22～R2. 9. 14 (北-13 へ移動)</p>
<p>北-6</p> 	<p>地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 39.39″ 経度：130° 38′ 42.28″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●アライグマ確認地点に近接する地点 ●果樹園、耕作地が隣接する沢沿いに設置</p>	<p>R2. 8. 6～R3. 2. 15</p>
<p>北-7</p> 	<p>地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 18.42″ 経度：130° 38′ 32.28″</p> <p>【設置環境】 寺社境内 ●玉東町との境界部 ●ねぐらとなる可能性がある寺社境内に設置</p>	<p>R2. 8. 6～R2. 11. 16 (北-16 へ移動)</p>
<p>北-8</p> 	<p>地名：北区植木町平原 【設置場所】 緯度：32° 55′ 29.29″ 経度：130° 39′ 21.57″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●分布拡大の可能性を考慮して設置 ●果樹園、耕作地が隣接する沢沿いに設置</p>	<p>R2. 8. 6～R3. 2. 15</p>
<p>北-9</p> 	<p>地名：北区植木町豊岡 【設置場所】 緯度：32° 55′ 4.41″ 経度：130° 39′ 14.1″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●分布拡大の可能性を考慮して設置 ●耕作地、湿地が隣接する沢沿いに設置</p>	<p>R2. 8. 6～R3. 2. 15</p>

表 2-5 自動撮影カメラ設置状況 [北区] (3)

カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
北-10 	地名：北区植木町山本 【設置場所】 緯度：32° 55′ 46.37″ 経度：130° 40′ 20.62″ 【設置環境】 沢沿い ●分布拡大の可能性を考慮して設置 ●耕作地、湿地、ため池が隣接する沢沿いに設置	R2. 8. 6～R3. 2. 15
北-11 	地名：北区和泉町 【設置場所】 緯度：32° 51′ 4.84″ 経度：130° 40′ 32.02″ 【設置環境】 沢沿い ●分布拡大の可能性を考慮して設置 ●耕作地、湿地、ため池が隣接する沢沿いに設置	R2. 7. 30～R3. 2. 15
北-12 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 45.7″ 経度：130° 38′ 57.5″ 【設置環境】 沢沿い ●北-3 下流部に位置する ●果樹園に近い沢沿いに設置	R2. 9. 14～R3. 2. 15
北-13 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 37.51″ 経度：130° 38′ 36.24″ 【設置環境】 樹林地（竹林） ●アライグマ確認地点に近接する地点 ●果樹園、耕作地が隣接する樹林内に設置	R2. 9. 14～R2. 11. 6 (北-15 へ移動)
北-14 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 51.39″ 経度：130° 38′ 59.49″ 【設置環境】 沢沿い ●北-2 の下流側に位置する ●果樹園に隣接する沢沿いに設置	R2. 11. 6～R3. 2. 15

表 2-5 自動撮影カメラ設置状況 [北区] (4)



カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
北-15 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 33.51″ 経度：130° 38′ 39.6″ 【設置環境】 樹林地 ●アライグマ確認地点に近接する地点 ●果樹園、耕作地が隣接する樹林内に設置	R2. 11. 6～R3. 2. 15
北-16 	地名：北区植木町鈴麦 【設置場所】 緯度：32° 55′ 33.51″ 経度：130° 38′ 39.6″ 【設置環境】 果樹園 ●アライグマ確認地点に近接する地点 ●ねぐらとなる可能性がある果樹園の資材置き場付近に設置	R2. 12. 14～R3. 2. 15

表 2-6 自動撮影カメラ設置状況 [西区] (1)






カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
西-1 	地名：西区河内町河内 【設置場所】 緯度：32° 50′ 41.94″ 経度：130° 36′ 26.34″ 【設置環境】 樹林地 ●玉名市との境界部 ●果樹園に隣接する樹林地に設置 ●玉名市側からの侵入経路となることを想定して設置	R2. 7. 30～R3. 2. 15
西-2 	地名：西区河内町河内 【設置場所】 緯度：32° 49′ 47.88″ 経度：130° 36′ 32.22″ 【設置環境】 樹林地 ●アライグマ捕獲地点に近接 ●移動経路となる尾根沿いの林道に設置	R2. 7. 30～R3. 2. 15
西-3 	地名：西区河内町河内 【設置場所】 緯度：32° 49′ 34.95″ 経度：130° 36′ 52.39″ 【設置環境】 樹林地 ●玉名市との境界部 ●果樹園、耕作地に隣接する樹林地に設置 ●玉名市側からの侵入経路となることを想定して設置	R2. 7. 30～R3. 2. 15
西-4 	地名：西区河内町大多尾 【設置場所】 緯度：32° 51′ 21.78″ 経度：130° 39′ 17.06″ 【設置環境】 河川沿い ●果樹園に隣接する河川沿いに設置 ●北区、玉東町からの侵入経路となることを想定して設置	R2. 7. 30～R3. 2. 15
西-5 	地名：西区谷尾崎町 【設置場所】 緯度：32° 48′ 15.17″ 経度：130° 40′ 35.12″ 【設置環境】 果樹園 ●アライグマ捕獲地点に近接する地点 ●ため池に隣接する果樹園に設置 ●坪井川に近く移動経路になることを想定して設置	R2. 10. 28～R3. 2. 15

表 2-6 自動撮影カメラ設置状況 [西区] (2)

カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
西-6 	地名：西区池上町 【設置場所】 緯度：32° 48' 1.28" 経度：130° 39' 5.64" 【設置環境】 沢沿い ●果樹園に隣接する沢沿いに設置 ●金峰山方面から南下する経路になることを想定して設置	R2. 10. 28～R3. 2. 15
西-7 	地名：西区西松尾町 【設置場所】 緯度：32° 47' 48.79" 経度：130° 37' 28.61" 【設置環境】 林道 ●アライグマ確認地点に近接する地点 ●果樹園に近接する林道沿い（谷筋） ●権現山周辺等に生息する個体を確認するために設置	R2. 10. 28～R3. 2. 15

表 2-7 自動撮影カメラ設置状況 [東区]


カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
東-1 	地名：東区秋津町秋田 【設置場所】 緯度：32° 45' 54.32" 経度：130° 45' 37.73" 【設置環境】 河川沿い ●アライグマ捕獲地点に近接する地点 ●江津湖、加勢川に隣接する東部浄化センター内に設置 ●移動経路となる河川沿いに設置	R2. 10. 28～R3. 2. 15

表 2-8 自動撮影カメラ設置状況 [南区]


カメラ No.	設置位置及び環境	設置期間
南-1 	地名：南区富合町平原 【設置場所】 緯度：32° 41' 57.32" 経度：130° 41' 32.11" 【設置環境】 ため池沿い ●アライグマ確認地点に近接する地点 ●付近にて住民からの目撃情報あり ●ため池沿いに設置	R2. 10. 27～R3. 2. 15



図 2-2 調査実施箇所 (全体)

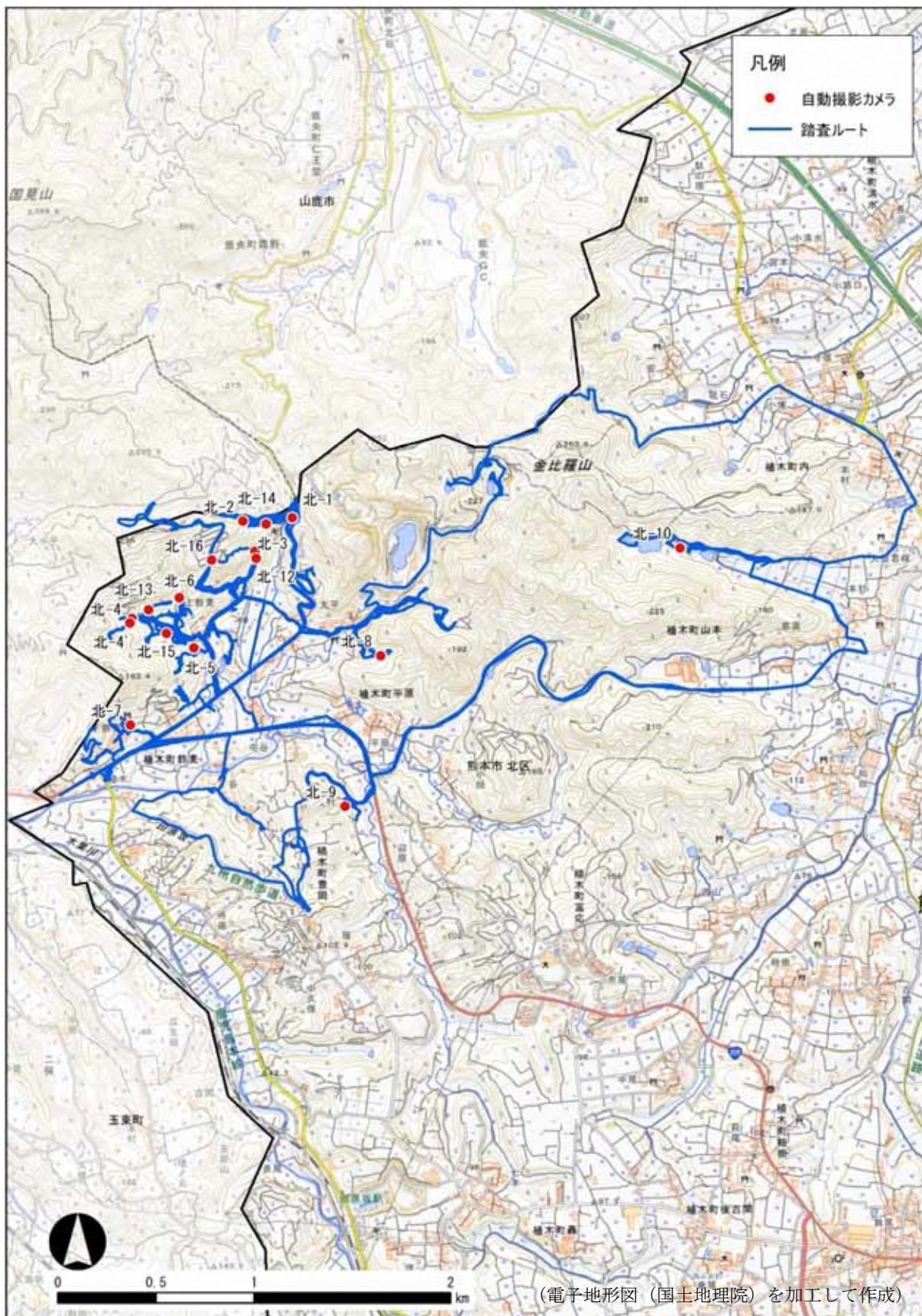


図 2-3 調査実施箇所(詳細:北区-1)

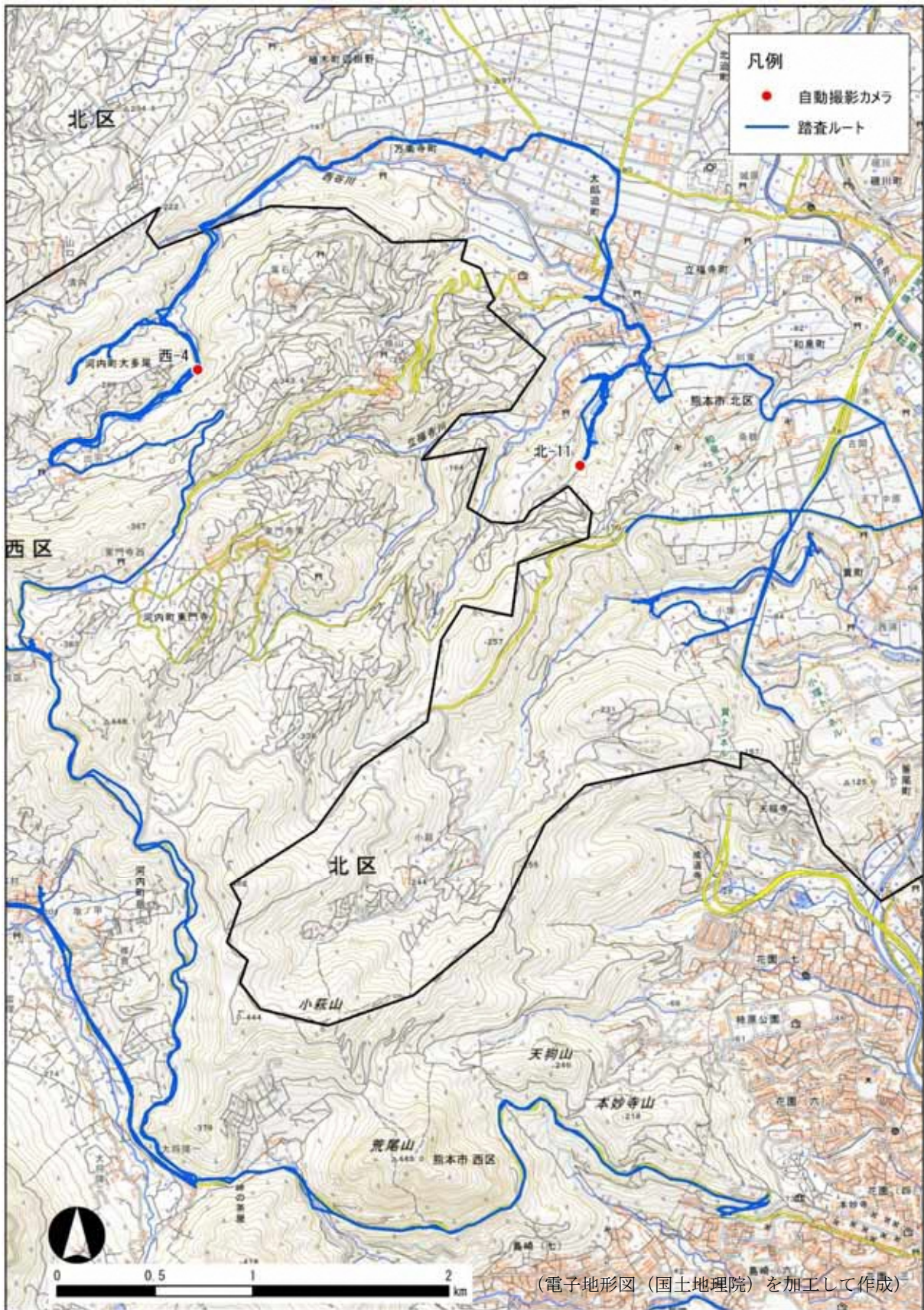


图 2-4 調査実施箇所（詳細：北区-2・西区-1）



図 2-5 調査実施箇所（詳細：西区-2）



図 2-6 調査実施箇所（詳細：西区-3）

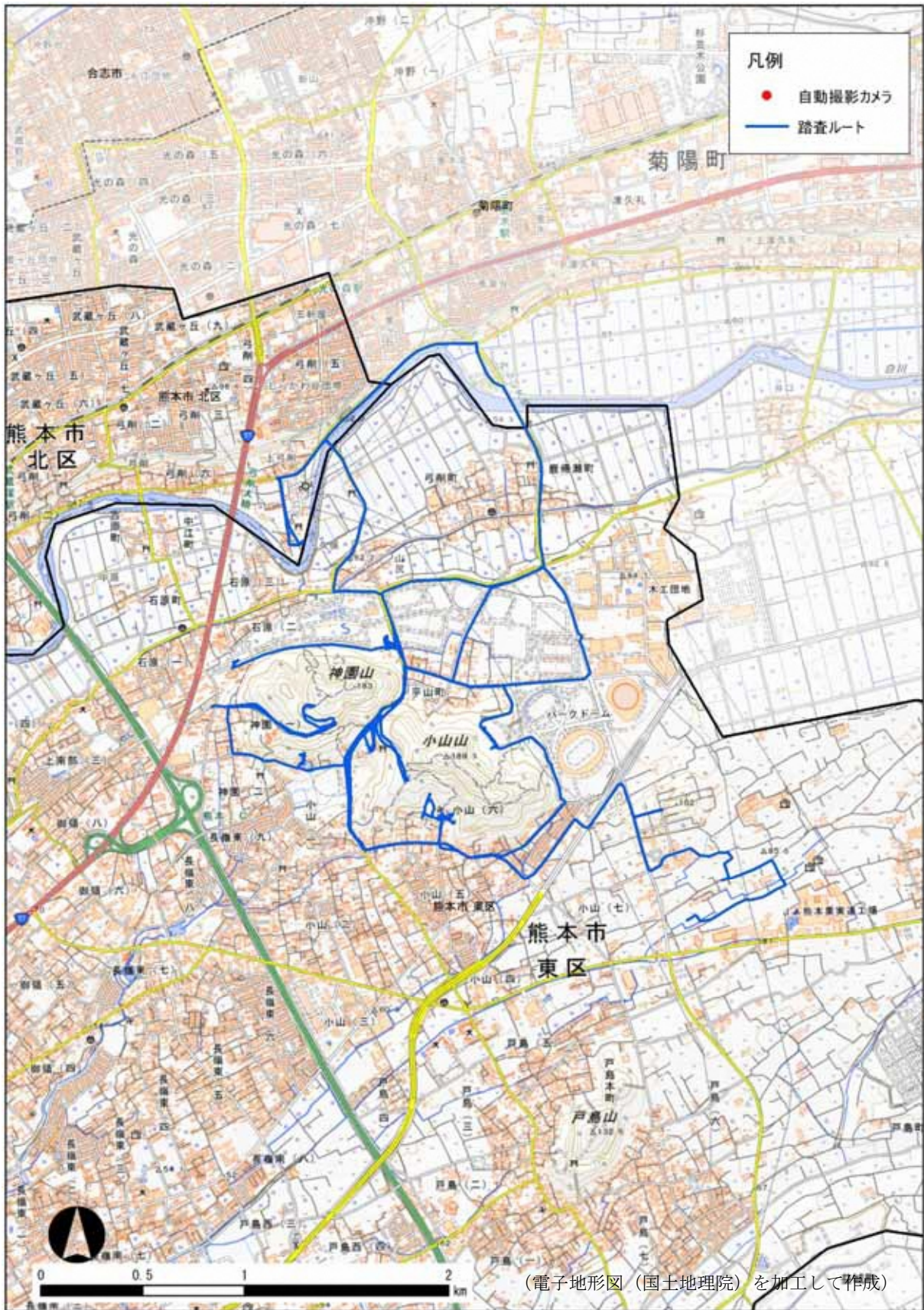


図 2-7 調査実施箇所（詳細：東区-1）

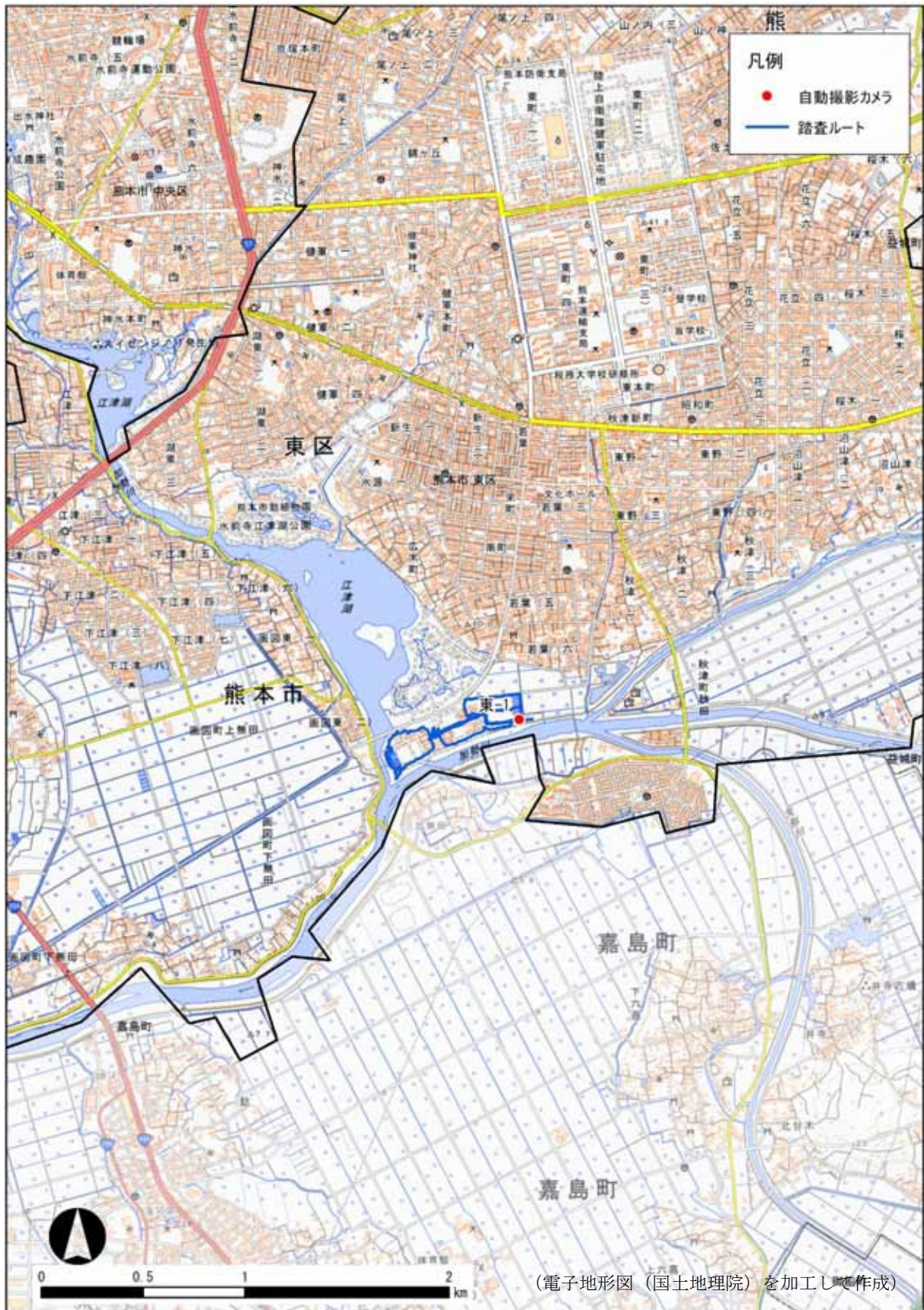


図 2-8 調査実施箇所 (詳細：東区-2)



図 2-9 調査実施箇所(詳細:南区)

(4) 生息確認時の対応

カメラ撮影によってアライグマの生息が確認された場合は、早急な捕獲等の対策が必要となることから、生息が確認されてから（カメラ撮影の場合は撮影された時刻から）48時間以内に画像や位置情報を提供し、報告を行った。

(5) 調査結果

結果概要

調査の結果、北区植木町平原同町鈴麦、同町山本及び和泉町に設置した自動撮影カメラ 11 地点（北-1、2、4、4'、6、8、10、11、12、14、15）において 38 回アライグマが撮影されたほか、北-2、4' の 2 か所において足跡が確認された。

アライグマの確認状況を表 2-9 に示し、以下に確認画像一覧を示す。

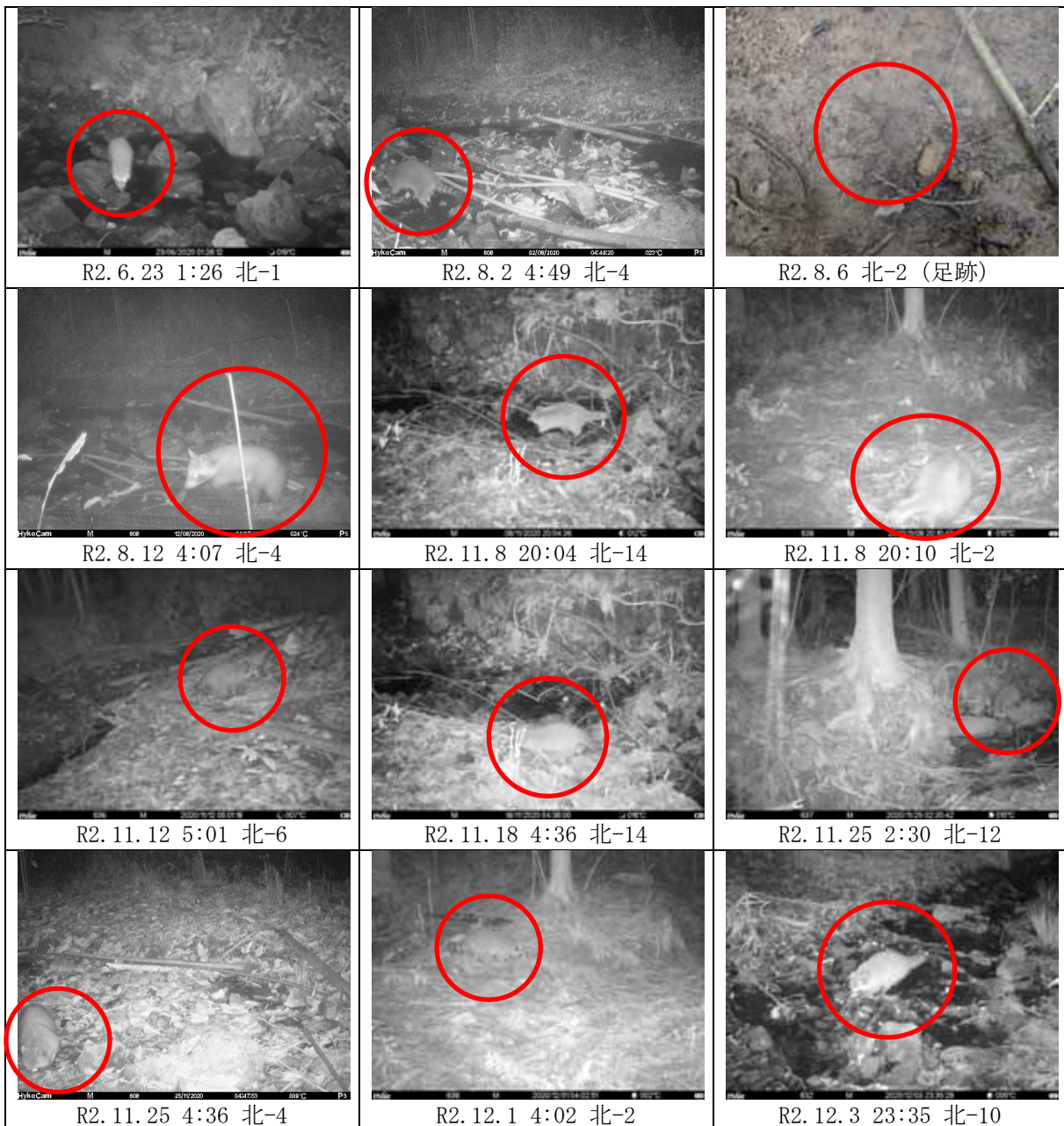
表 2-9 アライグマ確認状況一覧(1)

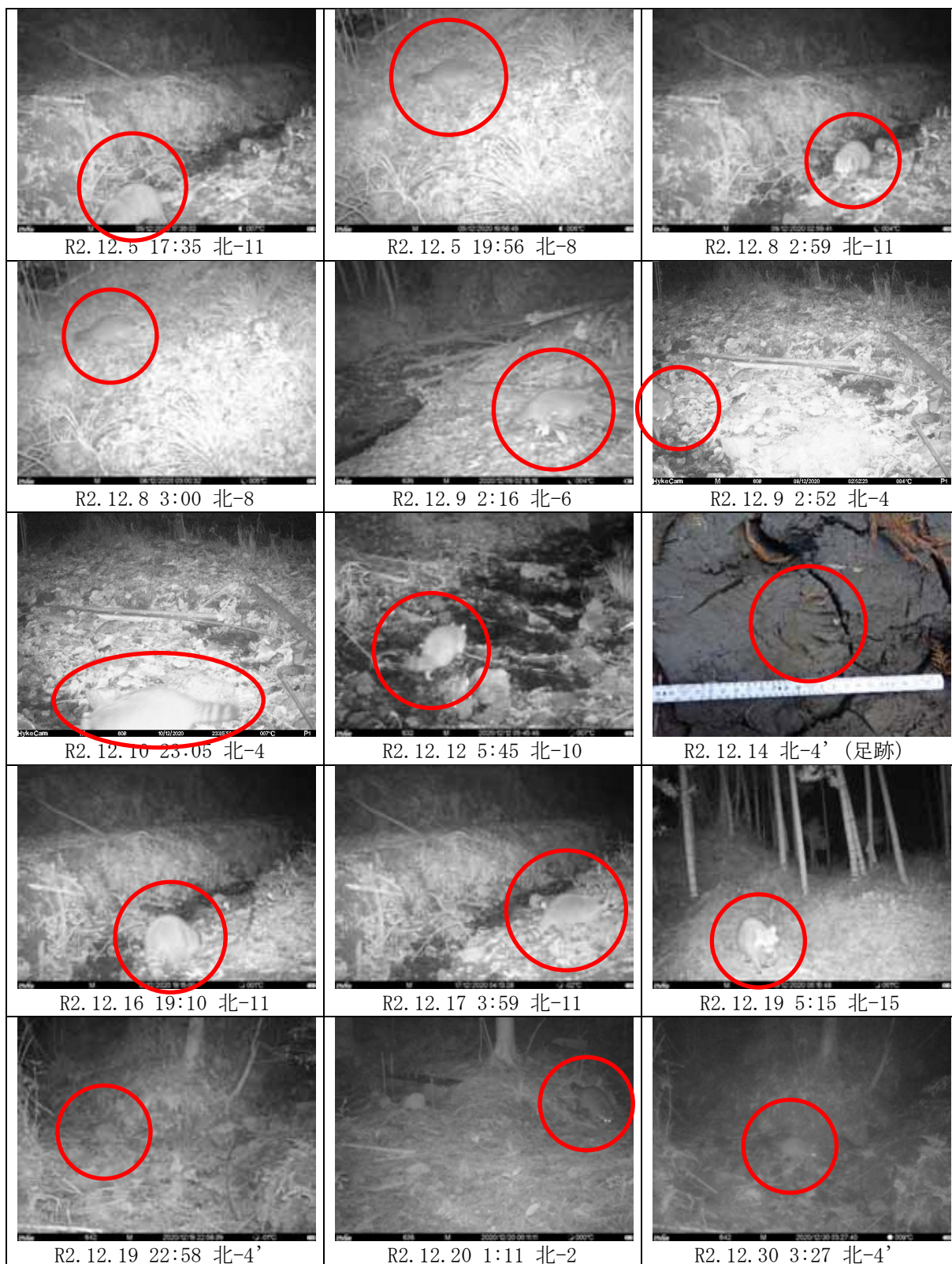
No.	確認日	時間	場所	確認手法	備考
1	R2. 6. 23	1:26	北-1	撮影	
2	R2. 8. 2	4:49	北-4	撮影	
3	R2. 8. 6	-	北-2	足跡	
4	R2. 8. 12	4:07	北-4	撮影	捕獲後に逃走
5	R2. 11. 8	20:04	北-14	撮影	同一個体の可能性あり
6	R2. 11. 8	20:10	北-2	撮影	
7	R2. 11. 12	5:01	北-6	撮影	
8	R2. 11. 18	4:36	北-14	撮影	
9	R2. 11. 25	2:30	北-12	撮影	
10	R2. 11. 25	4:36	北-4	撮影	
11	R2. 12. 1	4:02	北-2	撮影	計 4 回撮影
12	R2. 12. 3	23:35	北-10	撮影	
13	R2. 12. 5	17:35	北-11	撮影	
14	R2. 12. 5	19:56	北-8	撮影	
15	R2. 12. 8	2:59	北-11	撮影	
16	R2. 12. 8	3:00	北-8	撮影	
17	R2. 12. 9	2:16	北-6	撮影	同一個体の可能性あり
18	R2. 12. 9	2:52	北-4	撮影	
19	R2. 12. 10	23:05	北-4	撮影	
20	R2. 12. 12	5:45	北-10	撮影	
21	R2. 12. 14	-	北-4'	足跡	
22	R2. 12. 16	19:10	北-11	撮影	計 4 回撮影
23	R2. 12. 17	3:59	北-11	撮影	計 8 回撮影
24	R2. 12. 19	5:15	北-15	撮影	
25	R2. 12. 19	22:58	北-4'	撮影	
26	R2. 12. 20	1:11	北-2	撮影	
27	R2. 12. 30	3:27	北-4'	撮影	
28	R3. 1. 1	5:26	北-10	撮影	
29	R3. 1. 3	2:27	北-11	撮影	
30	R3. 1. 3	3:49	北-14	撮影	
31	R3. 1. 3	21:47	北-14	撮影	

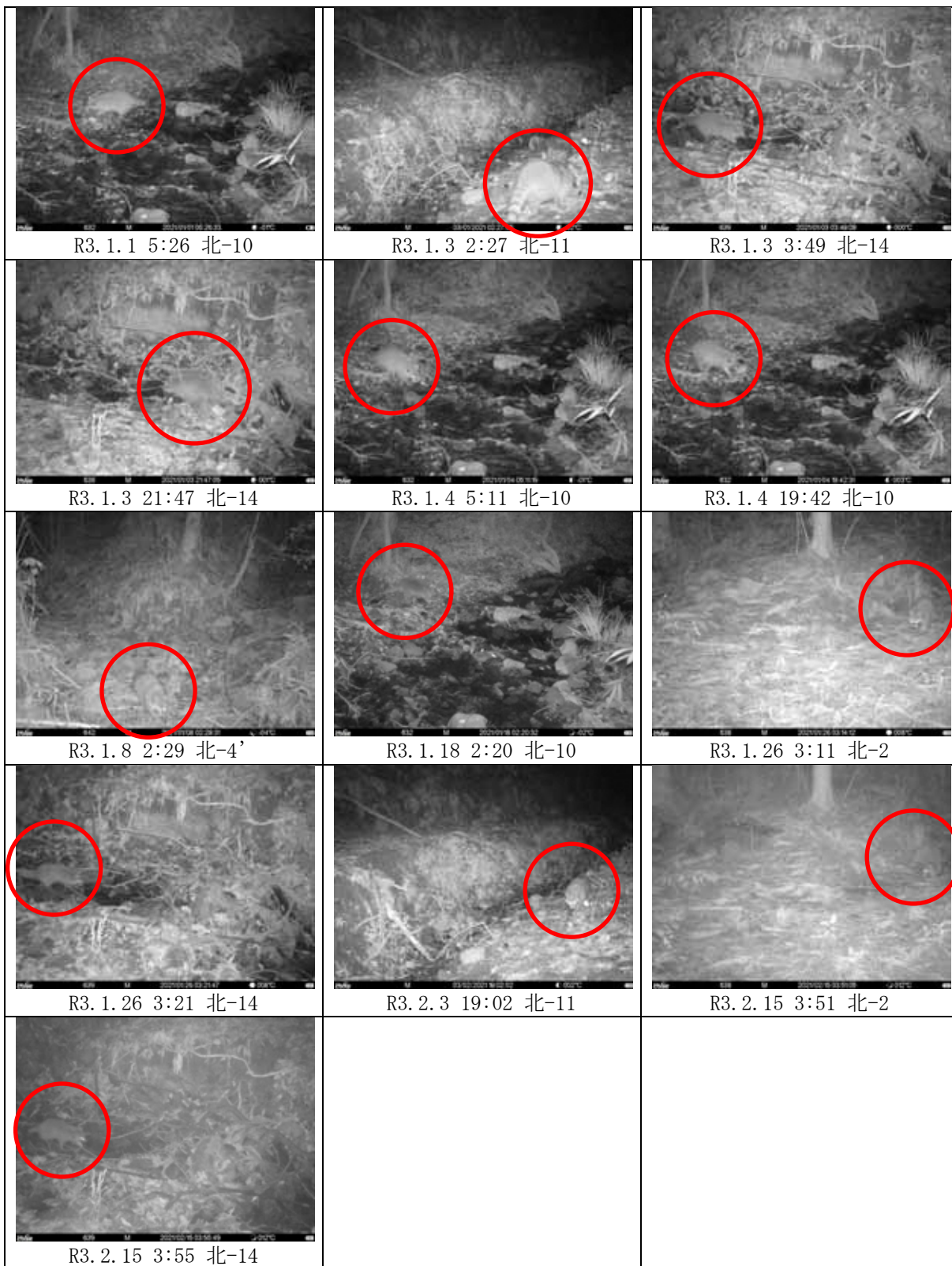
表 2-9 アライグマ確認状況一覧(2)

No.	確認日	時間	場所	確認手法	備考
32	R3. 1. 4	5:11	北-10	撮影	
33	R3. 1. 4	19:42	北-10	撮影	
34	R3. 1. 8	2:29	北-4'	撮影	
35	R3. 1. 18	2:20	北-10	撮影	
36	R3. 1. 26	3:11	北-2	撮影	同一個体の可能性あり
37	R3. 1. 26	3:21	北-14	撮影	
38	R3. 2. 3	19:02	北-11	撮影	
39	R3. 2. 15	3:51	北-2	撮影	同一個体の可能性あり
40	R3. 2. 15	3:55	北-14	撮影	

〈アライグマ確認画像一覧〉







北区

過去の確認地点やその周辺域における耕作地、果樹園、沢、ため池などの環境においてフィールドサイン調査を実施した結果、植木町鈴麦の2か所（北-2、4'）において足跡が確認された。このほか、ヒアリング等も実施したが、確実な痕跡や情報は確認されなかった。

フィールドサイン調査結果やこれまでの確認状況等の情報を基に、木葉山周辺（平原、鈴麦地区）や南部の立福寺町にかけての範囲にカメラを設置した結果、植木町平原地区（北-1、8）、鈴麦地区（北-2、4、4'、6、12、14、15）、山本地区（北-10）、和泉町（北-11）の計11地点に設置した自動撮影カメラにおいて計38回、アライグマが確認された。アライグマ確認位置図を図2-10～図2-11に示す。

このうち、和泉町（北-11）は北区の中でも南部に位置し、西区と隣接するほか、中央区にも近い場所に位置する。当地では12月～2月にかけて複数回確認されており、定着している可能性が示唆された。井芹川の上流部に位置することから、当地から井芹川沿いに西区、中央区へと拡大することも懸念される。

また、植木町山本地区は、木葉山から連続する樹林帯に位置する地区ではあるが、これまで確認されていた平原や鈴麦からは少し離れた地区であることから、分布が拡大していることが示唆された。



地区環境（ため池）



地区環境（耕作放棄地）



撮影個体（北-2 R2.12.1）



足跡（北-4' R2.12.14）

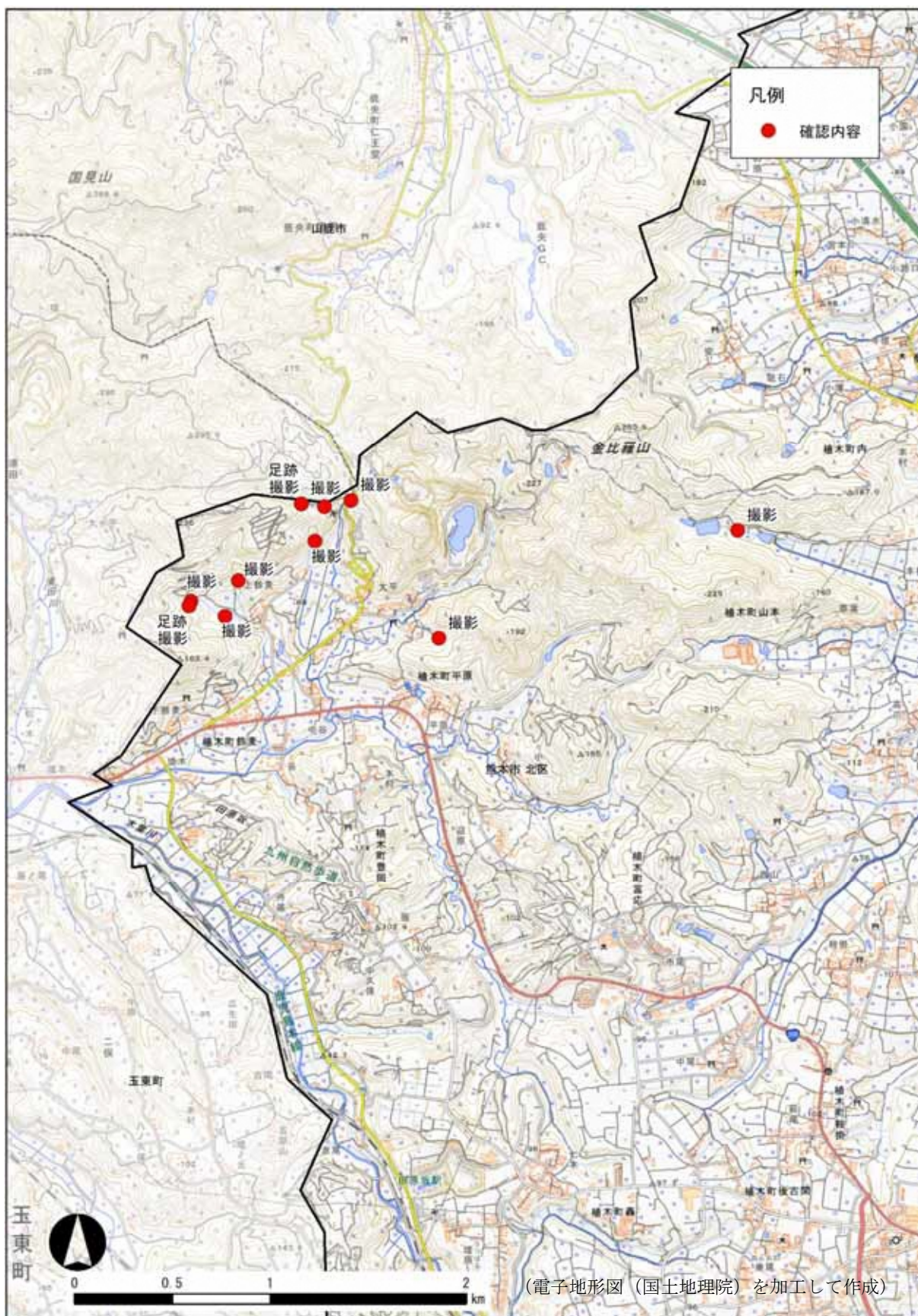


図 2-10 アライグマ確認位置 (北区-1)

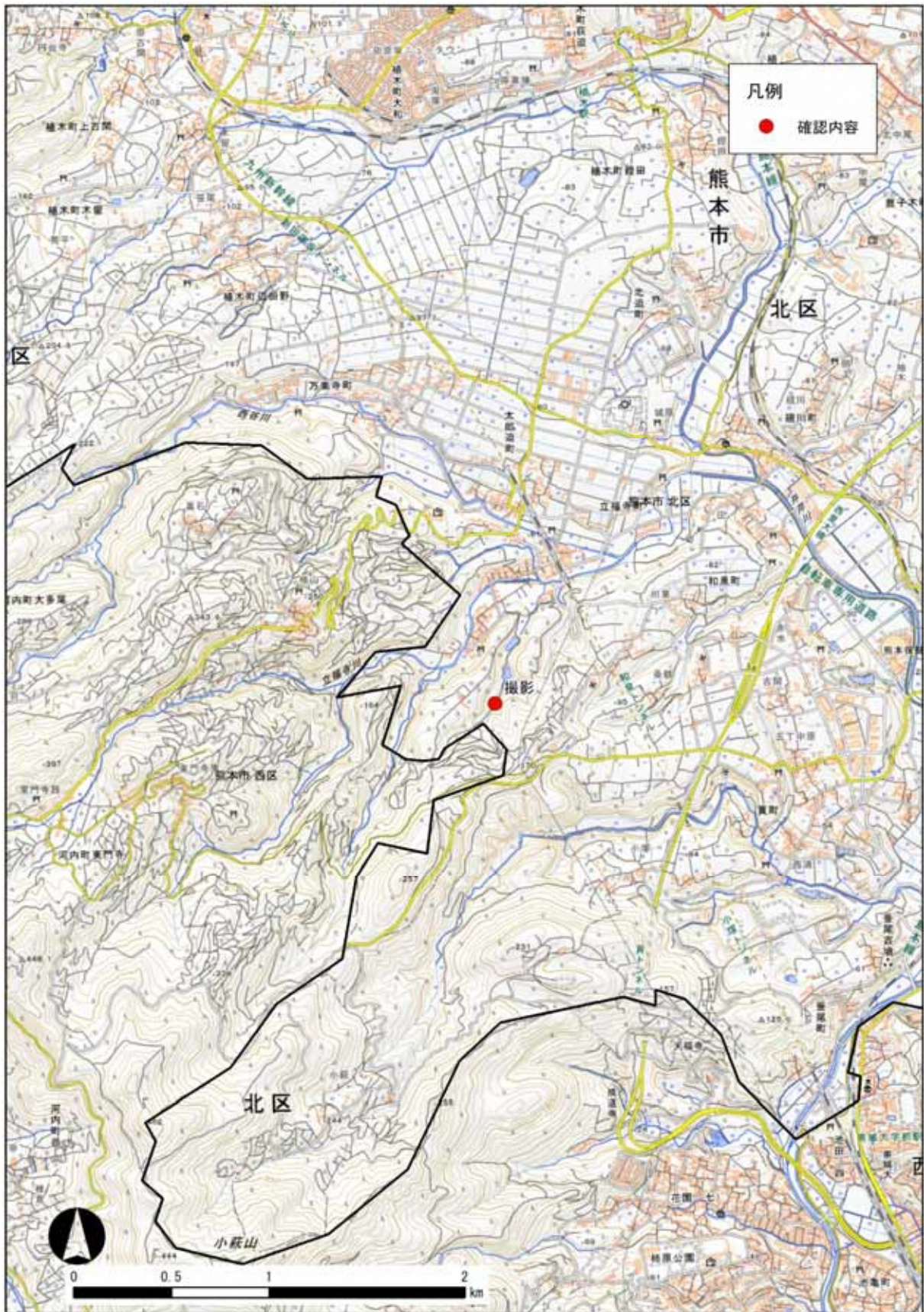


图 2-11 アライグマ確認位置（北区-2）

西区

過去の確認地点やその周辺域における耕作地、果樹園、沢などの環境においてフィールドサ
イン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は確認されなかった。西区で盛んに栽
培され、被害発生が懸念されるミカン農家へのヒアリングも実施したが、目撃や被害の情報は
得られなかった。しかし、イノシシによる被害情報は度々聞かれることから、アライグマによ
る被害との区別がつかず、把握されていない可能性もある。

これまでの確認状況を基に、玉名市、玉東町等からの侵入を確認することを目的として、河
内町河内、同町大多尾に、金峰山周辺の定着個体を確認することを目的として西松尾町、谷尾
崎町、池上町に自動撮影カメラを設置したが、アライグマは確認されなかった。



地区環境（耕作地）



地区環境（果樹園）



地区環境（ため池）



地区環境（沢）

中央区

過去の確認地点やその周辺域における河川などの環境においてフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は確認されなかった。

中央区での確認事例は島崎地区の1例のみであり、大半が市街地であることから、自動撮影カメラは設置していない。市街地での分布拡大は、人的被害にも繋がりやすいことから、今後も情報収集を継続することが望まれる。



東区

過去の確認地点である下江津周辺や菊陽町での確認地点に近い小山地区、神園地区などにおける耕作地、河川などの環境においてフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は確認されなかった。

下江津の確認地点に近く、加勢川の下流に位置する南区野田での確認事例もあることから、江津湖南部に位置する東部浄化センターに自動撮影カメラを設置した。東部浄化センター内では、ため糞が確認されたため、アライグマの利用も疑われたが、カメラ調査の結果、ノウサギ、タヌキ、ネコの3種類が撮影されたのみであり、アライグマは確認されなかった。



地区環境（ため池）



地区環境（耕作地）



地区環境（東部浄化センター）



東部浄化センター内のため糞

南区

過去に複数回確認されている雁回山周辺における耕作地、ため池、沢などの環境においてフィールドサイン調査やヒアリングを実施したが、確実な痕跡や情報は確認されなかった。

これまでの確認状況や市に寄せられた目撃報告を基に、雁回山麓の富合町平原地区にカメラを設置したが、アライグマは確認されなかった。昨年度、南区における確認はなく、今年度は有識者からの助言もあり、北区、西区での調査を重点的に行ったことで、南区ではカメラ1台を設置したのみであった。このため、南区における詳細情報は不明であるが、富合町平原地区では、過去に確認されており、今年度も市に目撃情報が寄せられていることから、生息している可能性は高いと考えられる。



地区環境（ため池）



地区環境（沢）

その他の確認種

自動撮影カメラ調査の結果、アライグマを含む 12 種の哺乳類及び 11 種の鳥類が確認された。確認種一覧を表 2-10 に示す。

確認種のうち、タヌキ、キツネ、テン、ニホンアナグマなどはアライグマと生息環境や餌資源を競合する種であるが、現在においては継続的に広範囲で確認されている。一方で、森林内の沢沿いなどに生息するミゾゴイや樹洞をねぐらとするフクロウが北区、西区のそれぞれ 1 か所で確認されている。両種はともに希少種に指定されている種であるが、ミゾゴイはアライグマと生息環境が近接し、フクロウはねぐら環境を競合することから、捕食などの被害が懸念される。アライグマによる生態系への影響は不明点も多く、広く生息する種や希少種についても継続的に情報を収集し、生態系に対する影響にも着目していくことが望ましい。

表 2-10 確認種一覧

No	分類	種名	カメラNo.																				備考								
			北区										西区							東区	南区										
			1	2	3	4	4'	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	1	2	3		4	5	6	7	1	1		
1	哺乳類	ニホンザル																													
2		ノウサギ		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○		○	○	○		
3		ネズミ科																					○								
4		アライグマ	○	○		○	○		○	○		○	○		○	○														特定外来生物	
5		タヌキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○														
6		キツネ		○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○															
7		イヌ											○																		
8		テン	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○														
9		イタチ属	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○									○		○					
10		ニホンアナグマ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○															
11		ネコ	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○														
12		ニホンイノシシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
哺乳類合計 12種			7	8	5	9	9	5	7	6	9	8	7	9	8	9	7	8	2	6	5	5	8	8	3	7	4	6			
1	鳥類	コジュケイ																													
2		オンドリ																													環境省RL:DD
3		キジバト	○		○	○		○				○	○											○	○						
4		アオバト												○																	
5		ミゾゴイ												○																	環境省RL:VU 熊本県RDB:EN
6		アオサギ				○																									
7		フクロウ												○													○				熊本県RDB:VU
8		カラス類																													
9		ヒヨドリ				○								○																	
10		シロハラ																													
11		ホオジロ																													
鳥類合計 11種			1	0	1	3	0	0	1	0	1	1	3	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	4	2	2	0	1			

※環境省 RL：環境省レッドリスト 2020

VU：絶滅危惧 II 類 DD：情報不足

※熊本県 RDB：レッドデータブックくまもと 2019-熊本県の絶滅のおそれのある野生動植物-

EN：絶滅危惧 IB 類、VU：絶滅危惧 II 類

〈撮影画像一覧〉 ※アライグマを除く

 <p>ニホンザル (北-13)</p>	 <p>ノウサギ (西-1)</p>	 <p>ネズミ科 (西-4)</p>
 <p>タヌキ (東-1)</p>	 <p>キツネ (北-7)</p>	 <p>イヌ (北-12)</p>
 <p>テン (西-1)</p>	 <p>イタチ属 (西-5)</p>	 <p>ニホンアナグマ (北-4)</p>
 <p>ネコ (西-5)</p>	 <p>ニホンイノシシ (北-3)</p>	 <p>コジュケイ (西-7)</p>
 <p>オシドリ (南-1)</p>	 <p>キジバト (北-1)</p>	 <p>アオバト (北-12)</p>



ミゾゴイ (北-11)



アオサギ (西-5)



フクロウ (北-10)



カラス類 (西-5)



ヒヨドリ (西-4)



シロハラ (西-5)



ホオジロ (西-7)

(6) 熊本県内におけるアライグマ確認状況の再整理

今年度の熊本県内でのアライグマ確認状況を整理すると、今年度は2月5日時点で56例の確認が報告されており、初めて確認された平成22年度以降、最も多い確認例数になっている。これまで同様、県北部域における確認が多い傾向が続いているが、菊陽町や益城町などの県中部、芦北町、水俣市といった県南部での確認もあり、確実に分布拡大が進んでいると考えられる。令和3年2月5日時点での令和2年度における熊本県内でのアライグマ確認状況一覧を表2-11に示し、年度ごとの確認事例数の推移を表2-12及び図2-12に示す。

また、熊本市内では中央区島崎で屋根裏での確認、東区下江津で民家屋根上での確認と昨年度に引き続き、民家周辺での確認も報告されている。他の市町においても民家付近での確認が相次いでおり、このような民家付近における確認は、人的被害、生活被害に繋がる可能性が高まる。今後、更なる分布拡大や個体数増加が進むことで、都市部を含む広域においてこのような事例が増加することが懸念される。

表 2-11 令和2年度における熊本県内でのアライグマ生息確認状況一覧(1)

(令和3年2月5日時点)

No.	場 所	確認方法	頭数	性別	捕獲等年月日	周辺環境等
1	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.4.10	山林の沢沿い
2	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.4.10	山林の沢沿い
3	葦北郡芦北町大字横居木	捕獲(幼獣)	1	メス	R2.4.12	イチゴハウス周辺
4	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.4.30	山林の沢沿い
5	熊本市北区植木町鈴麦	捕獲	1	メス	R2.4.30	沢沿いの竹林内
6	熊本市中央区島崎一丁目	捕獲	1	オス	R2.4.30	民家の屋根裏
7	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	R2.5.5	沢沿い
8	熊本市西区河内町河内	捕獲	1	オス	R2.5.8	果樹園内作業道
9	熊本市東区下江津五丁目	捕獲	1	オス	R2.5.12	民家の屋根上
10	菊池郡菊陽町大字津久礼	捕獲(幼獣)	1	メス	R2.5.17	市街地公園
11	山鹿市鹿北町四丁	捕獲(幼獣)	1	メス	R2.5.20	民家裏の木
12	玉東町上木葉	捕獲	1	メス	R2.5.20	民家付近
13	山鹿市鹿北町四丁	捕獲(幼獣)	1	メス	R2.5.29	民家裏の木
14	玉東町上木葉	捕獲	1	メス	R2.6.1	民家付近
15	玉東町上木葉	捕獲(幼獣)	1	メス	R2.6.12	民家付近
16	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	R2.6.23	沢沿い
17	山鹿市鹿北町椎持	捕獲	1	オス	R2.6.28	民家付近
18	山鹿市鹿北町椎持	捕獲	1	メス	R2.7.11	民家付近
19	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.8.2	山林の沢沿い
20	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.8.6	山林の沢沿い
21	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.8.12	山林の沢沿い
22	菊池市班蛇口	捕獲	1	オス	R2.9.24	民家付近
23	菊池市原字柏地内	写真	1	-	R2.10.5	山林
24	菊池市下河原柿水平地内	捕獲	1	オス	R2.10.21	民家付近の山林
25	菊池市泗水町吉富	写真(幼獣)	1	-	R2.10.22	民家庭
26	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.11.8	山林の沢沿い
27	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.11.12	水路沿い
28	山鹿市小坂	捕獲	1	メス	R2.11.11	民家付近

表 2-11 令和2年度における熊本県内でのアライグマ生息確認状況一覧(2)

No.	場 所	確認方法	頭数	性別	捕獲等年月日	周辺環境等
29	上益城郡甲佐町大字西寒野	写真	1	-	R2.11.11	太秋柿畑
30	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.11.18	山林の沢沿い
31	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.11.25	山林の沢沿い
32	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.12.1	山林の沢沿い
33	熊本市北区植木町山本	写真	1	-	R2.12.3	沢沿い
34	水俣市祇園町	捕獲	1	オス	R2.12.2	畑
35	熊本市北区和泉町	写真	1	-	R2.12.5	沢沿い
36	熊本市北区植木町平原	写真	1	-	R2.12.5	柿畑奥の樹林
37	宇城市豊野町糸石	捕獲	1	オス	R2.12.4	畑
38	熊本市北区植木町鈴麦 ※2箇所撮影	写真	1	-	R2.12.8	山林の沢沿い 水路沿い
39	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.12.10	山林の沢沿い
40	熊本市北区植木町山本	写真	1	-	R2.12.12	沢沿い
41	菊池市原	捕獲	1	不明	R2.12.14	森林
42	熊本市北区和泉町	写真	1	-	R2.12.17	沢沿い
43	菊池市原	捕獲	1	メス	R2.12.25	森林
44	熊本市北区植木町鈴麦 ※3箇所撮影	写真	1	-	R2.12.20	山林の沢沿い
45	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R2.12.30	山林の沢沿い
46	熊本市北区植木町山本	写真	1	-	R3.1.1	沢沿い
47	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R3.1.3	山林の沢沿い
48	熊本市北区和泉町	写真	1	-	R3.1.3	沢沿い
49	熊本市北区植木町山本	写真	1	-	R3.1.4	沢沿い
50	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R3.1.8	山林の沢沿い
51	上益城郡益城町田原	死亡個体	1	不明	R3.1.13	道路上事故死
52	熊本市北区植木町山本	写真	1	-	R3.1.18	沢沿い
53	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	-	R3.1.26	山林の沢沿い
54	山鹿市小坂	捕獲	1	メス	R3.2.3	民家付近
55	熊本市北区和泉町	写真	1	-	R3.2.3	沢沿い
56	菊池市原字柏地内	捕獲	1	メス	R3.2.5	森林
56	事例	個体確認	56	頭(うち捕獲及び死亡個体	24	頭)

※ : 熊本市内での確認

※No. 14 以前のデータは表 2-1 と重複する。

※太字は本調査における確認事例

※確認事例の計数方法が異なるため、本調査における確認事例数とは合致しない。

表 2-12 県内におけるアライグマ確認事例数の推移

市町	確認年度											合計
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	
荒尾市				1								1
南関町								2	2			4
和水町									3			3
玉名市					1		1	1	11	13		27
山鹿市						1	3	1	5	3	6	19
菊池市					1				2		7	10
玉東町									10	2	3	15
熊本市	1							3	9	19	34	66
大津町									1			1
菊陽町											1	1
益城町							1				1	2
御船町		1	1									2
甲佐町											1	1
宇土市									1			1
宇城市						1		2			1	4
小国町					4							4
高森町						1				1		2
山都町								1				1
芦北町											1	1
水俣市											1	1
天草市									1			1
合計	1	1	1	1	6	3	5	10	45	38	56	167



図 2-12 県内におけるアライグマ確認事例の推移

(7) 熊本市におけるアライグマ確認の経年推移

熊本市においては平成 28 年度から生息状況の把握を目的とした調査を実施し、自動撮影カメラを用いて継続的にモニタリングを行っている。これまでの 5 か年での生息状況調査における自動撮影カメラでの確認状況を表 2-13 及び図 2-13 に示す。なお、同一箇所において連続的に撮影されたデータについては、同一個体が留まっていた可能性があることから、30 分以内に撮影されたデータについては撮影回数には含めずに比較を行った。

自動撮影カメラを用いた生息状況調査では平成 29 年度に初めて確認され、平成 30 年度では確認地点数、撮影回数ともに増加しているが、カメラの設置箇所数、撮影日数が増加したことで撮影頻度には若干の低下が確認された。令和元年度では、撮影回数及び撮影頻度で増加傾向が確認され、令和 2 年度調査の結果、確認地点数、撮影回数、撮影頻度ともに増加が確認された。確認地点は昨年同様に全て北区であるが、昨年度の 5 地点から 11 地点へ大きく増加した。これまでの木葉山周辺だけでなく、東側の山本地区や南へ大きく離れた和泉町などへの分布拡大も確認された。すべての値が大きく増加していることは、「侵入初期」のステージから「分布拡大」ステージへ移行してきていることも示唆され、今後、個体数が急増する可能性が高まってきていると考えられる。

また、西区、中央区、東区、南区では今年度は確認されなかった。西区においては、これまでに確認された西松尾町等のほか、侵入経路と想定される市町界付近への設置も試みたが、確認はされなかった。しかし、令和 2 年 5 月に河内町河内で捕獲、11 月以降に西区に近い北区和泉町での確認されていることなど、生息している可能性は高いと考えられる。また、南区においては、昨年度調査において確認されなかったことなどから、今年度は 1 地点のみのカメラ設置であり、詳細は不明である。しかし、住民からの目撃事例もあることから、今後の状況には注意が必要である。中央区や東区においては、確認事例も少なく、生息個体数は少ないものと考えられるが、いずれの地区においても対策を講じなければ、個体数が増加することは確実であるため、今後も継続的にモニタリングを行い、現状把握と確認時の早期対策を実施することで、今後の拡大防止、被害防止を講じることが望ましい。

月ごとの撮影回数を見ると、今年度は 12 月～1 月の撮影が非常に多い結果となった（図 2-14）。原産地の北アメリカでは、2 月～3 月に交尾期のピークを迎えるとの報告がある¹。このため、12 月、1 月に確認数が増加したことは、交尾に向けて繁殖相手を探すため活動を活発化させた可能性がある。これまでは晩夏から秋にかけての確認が多く、分散期の新規侵入個体も多かったと考えられるが、今年度の結果からは、定着し、繁殖する個体の増加ということが示唆される。冬季は活性が低下することから捕獲には向かないという報告もあるが、温暖な当地では冬季も活発に活動している結果であり、繁殖前の捕獲は個体数を減少させることに非常に効果的であるため、この時期についても捕獲対策を推進することが望ましい。

1

「地域からアライグマを排除する手引き」（環境省北海道地方環境事務所、NPO 法人 EnVision 環境保全事務所）

表 2-13 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移

年度	地区	カメラ 設置箇所数	アライグマ 確認地点数	撮影日数※1	アライグマ 撮影回数※2	撮影頻度 (回/日)
平成 28 年度	合計	13	0	761	0	0.0000
	北区	5	0	276	0	0.0000
	西区	4	0	254	0	0.0000
	南区	3	0	194	0	0.0000
	東区	1	0	37	0	0.0000
平成 29 年度	合計	15	2	1772	6	0.0034
	北区	9	1	904	5	0.0055
	南区	6	1	868	1	0.0012
平成 30 年度	合計	23	5	3816	10	0.0026
	北区	12	3	1765	6	0.0034
	西区	3	1	588	1	0.0017
	南区	8	1	1463	3	0.0021
令和元年度	合計	28	5	3749	15	0.0040
	北区	10	5	1454	15	0.0103
	西区	5	0	710	0	0.0000
	南区	13	0	1585	0	0.0000
令和 2 年度	合計	25	11	3533	38	0.0108
	北区	17	11	2310	38	0.0165
	西区	7	0	1112	0	0.0000
	南区	1	0	111	0	0.0000
	東区	1	0	110	0	0.0000

※1. 撮影日数は設置カメラ全台の合計日数

※2. 撮影回数は「同一箇所において 30 分以内に連続して撮影された回数」を除いた回数とした。

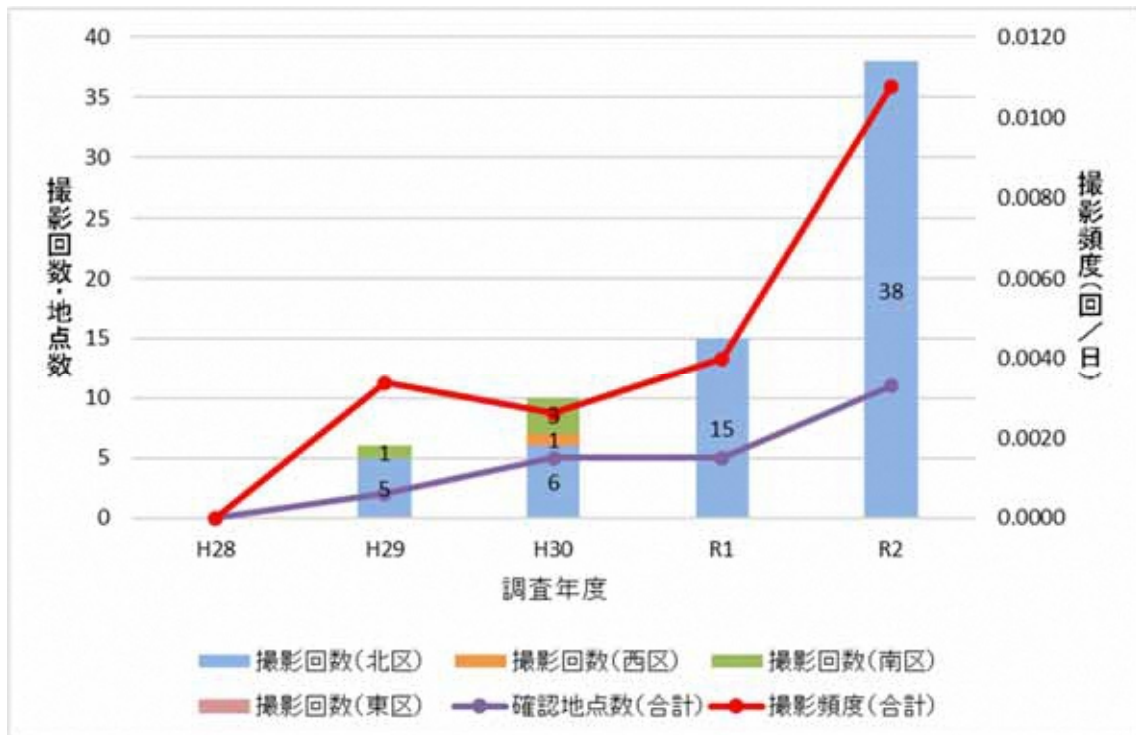


図 2-13 アライグマ確認状況の経年推移

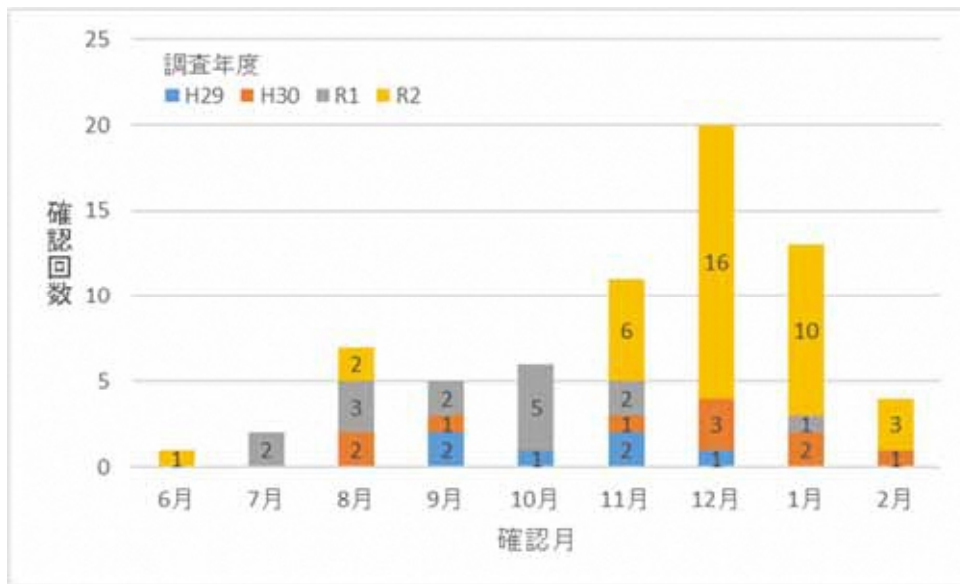


図 2-14 月ごとのアライグマ撮影回数

(8) 今後のアライグマ対策の提案

モニタリング調査の継続

これまでの生息状況調査において、平成 29 年度に 6 例、平成 30 年度に 10 例、令和元年度は 15 例、今年度で 40 例が確認されており、その数は増加傾向にある。

今後の分布拡大、生息個体数の増加を抑制するために、モニタリング調査を継続し、侵入状況の把握に努め、対策を講じることが必要である。今後のモニタリング調査計画について、以下に提案する。

【モニタリング調査地点の検討】

1. 北区

これまでの調査において確認されている地点のうち、北区植木町平原、鈴麦地区（木葉山周辺部）については、確認が相次いでいる。また、今年度は木葉山塊の東端に位置する山本地区、北区の南端に位置する和泉町での確認など、分布拡大傾向が認められる。木葉山周辺の広域や和泉町周辺でのモニタリングを継続し、状況把握に努める必要がある。

出来る限り早期に調査を開始し、繁殖期にあたる春季の状況を把握することが望まれる。

2. 西区

西区については、自動撮影カメラにおける調査では今年度確認されなかったが、河内町河内で捕獲されるなど、不連続ながら確認されている。玉名市、玉東町、北区から侵入し、移動途中での確認が大半であると考えられるが、金峰山周辺など、広大な樹林地を有するため、確認が困難であることも考えられる。

西区北側エリアでの新規侵入個体の確認、及び侵入個体の定着確認を目的として、広域かつ長期的にモニタリングを実施し、状況把握に努める必要がある。特に、西区北東部は隣接する北区和泉町で確認が相次いだこともあり、注意が必要である。

3. その他の地区

昨年度確認報告のなかった雁回山については、今年度重点地区からは除外し、自動撮影カメラの設置も 1 地点のみとした。しかし、住民からの目撃報告や、雁回山に近い宇城市豊野町での捕獲など、雁回山周辺に生息している可能性は否定できない状況にある。

また、中央区や東区などで確認されたように、突発的に確認される事例も増加すると考えられる。確認地点付近の河川や山林、緑地など、アライグマが出没しやすい環境にも着目し、臨機応変に対応していくことが望ましい。

【令和 3 年度のモニタリング調査地点案】

1. 定着・繁殖の恐れのある「北区：木葉山周辺」
2. 今後新たな侵入や定着の可能性のある「西区：金峰山系」
3. その他注意すべき環境：「南区：雁回山周辺」「確認事例発生地点の周辺域」

隣接市町との連携

今年度も玉東町、山鹿市との境界に位置する北区植木町平原や鈴麦地区において確認が相次いだ。また、今年度は玉東町で3例、山鹿市では6例、菊池市で7例と北区に隣接する市町においても確認が続いている。また、南区に隣接する宇城市と甲佐町でそれぞれ1例が、東区に隣接する菊陽町で1例が確認されている。このように、隣接する市町での確認は今後も増加することが想定される。

県内のアライグマ確認情報は県が集約し、市町村へ共有が図られていることで、隣接する市町との連携体制構築も進んでいると考えられるが、一層の関係強化を図り、県が集約している確実な情報以外での確度の高い情報共有を迅速に進め、協働で捕獲等の対策を講じることができ体制構築を進めることが望まれる。

捕獲体制の強化

今年度もアライグマが確認された場合は、確認後すぐにワナを設置し、捕獲を試みているが、今年度の捕獲実績は4頭で、いずれも業務実施前の捕獲であった。アライグマがワナの横を通過していく事例も確認されている。今後、生息个体数はさらに増加することが懸念され、捕獲による直接的な个体数減少を図ることは必須である。

アライグマを誘引する餌は、キャラメル味のコーン菓子やドッグフード、揚げパン、果物(モモ、バナナ)など、各地で様々なものが複合的に用いられている。県内で捕獲実績のある餌の種類を整理するほか、ワナの設置環境、設置方法などの情報共有を図り、捕獲効率を全体的に向上させることも望まれる。新規従事者への指導とともに、既存の捕獲従事者に対して上記を目的とした研修会を開催することも有効と考えられる。

【効果的な誘引餌の種類】²

- ・パン類(揚げパン、ドーナッツ)
- ・コーン菓子
- ・ドッグフード
- ・油やピーナツクリーム、ハチミツでにおい付け
- ・配合飼料(乾燥トウモロコシ、ふすま)
- ・果実(バナナ、モモ、リンゴ、ブドウ)
- ・インスタントラーメン

※肉類(唐揚げ等)、魚類(にぼし等)は混獲を誘発する危険性あり

※農作物の使用は被害を助長する危険性あり

² 参考資料

「地域からアライグマを排除する手引き」(環境省北海道地方環境事務所、NPO法人 EnVision 環境保全事務所)
「アライグマ等防除ハンドブック」(環境省中国四国地方環境事務所)
「アライグマ防除マニュアル」(関西広域連合)

普及啓発活動の継続実施

今年度は昨年の南区日吉地区に続き、中央区島崎、東区下江津など、民家周辺での確認が報告されている。また、隣接する玉東町、山鹿市などでも民家周辺での確認事例が発生している。今後、分布拡大や個体数の増加により、人目に付く機会も増加することが想定され、それに伴い、住民からの情報提供も増えることが想定される。民家周辺での確認事例が増加していることは、これまでの普及啓発活動によりアライグマに対する認識が向上している結果であることも考えられるが、確認が多発している植木町鈴麦地区などにおいても、住民のアライグマに対する知識が不足していると感じる機会は未だ数多い。引き続き、市民に向けた勉強会など「アライグマの特徴」や「識別点」等を周知する機会を設け、アライグマの侵入にいち早く気付くことができる体制強化が望まれる。

2-2 打ち合わせ及び報告

打ち合わせ協議は、着手時、中間時、取りまとめ時の計3回実施した。打ち合わせ協議の一覧は表 2-14 に示し、記録簿を資料編に示す。

表 2-14 打ち合わせ協議一覧

実施日	打合せ内容	備考
令和2年6月30日(火)	業務の進め方について	第1回打合せ(着手時)
平成2年10月27日(火)	業務進捗、カメラ追加について	第2回打合せ(中間時)
令和3年2月22日(月)	報告書等について	第3回打合せ(取りまとめ時)